

特定非営利活動法人地星社 中期計画

1. 中期計画策定にあたって

A. 策定の趣旨

組織内外で地星社の中期ビジョンを共有し、目標に対する参加と協力を広げ、また関係する団体・機関との連携を強化していくため、この中期計画を策定します。

B. 地星社の理念

地星社は、以下の「目的」と「活動の原則」を掲げて活動してきました。

(目的)

社会をよりよくする活動を行っている人や組織を支援し、増やしていくことで、私たちひとりひとりが地域づくり・社会づくりにかかわっていく社会を実現する。

(活動の原則)

信頼の原則：人や組織には、社会を変える力が本来備わっていることを信じ、その力が活かされるよう後押しする。

互敬の原則：人を大事にし、互いに敬い合う関係性を築く。

また、これまでの活動を通して私たちが気づいたことは、課題の当事者自身が「市民的専門性」とも言うべき洞察や気づきのスキルを持ち得ること、「当事者性を持った支援」をなし得ることでした。

これらを踏まえて、地星社では以下の理念をこの中期計画において大事にしていきたいと考えています。

それぞれの状況に応じて支援したりされたりする、相互の信頼の関係性を地域の中につくり、それによって自発的・主体的な社会参加が生まれやすくする。

C. 今後想定される状況

ア. 復興期間の終了と平時の取り組みへの移行

国が定めた復興期間が2020年度で終了することで、復興に関する資金、支援制度、施策などが急減することが想定されます。復興支援・被災者支援としてこれまで行われてきた取り組みを、平時の地域づくり・地域福祉につなげていく必要があります。

イ. 成果志向の高まりと当事者からの乖離

人口減少の本格化と国・自治体の財政難などを背景として、特に資金の出し手側の社会的課題解決や成果志向、説明責任への関心はさらに強まることが予想されます。課題を解決し成果を上げることは大事ですが、支援者側の意向で「課題」や「成果」が設定されることで、当事者から課題や成果が乖離する懸念があります。

2. 計画の内容

A. 計画期間

2019年4月1日から2024年3月31日までの5年間とします。

B. 中期ビジョン

地星社の理念におけるキーワードは、①信頼の関係性を構築、②自発性・主体性の尊重です。そして、今後想定される状況としては、③復興から平時の取り組みへ、④成果志向の高まりと当事者からの乖離があります。

これらを踏まえ、以下の3つの中期ビジョンを掲げます。

ア. 地域活動・社会的活動のまなびの場をつくる（②③④に対応）

地域活動に関心を持つ人たちがお互いに学びあいながら、主体性と活動のスキルを育んでいける場を地域の中につくります。

背景 被災した住民自身が当事者として復興支援活動に関わる中で、地域の課題に気づき、地域に対するオーナーシップ感覚や主体性を獲得していくことも多くありました。活動自体がまなびの場であったと言えます。そこで、平時におけるまなびの場を地域の中につくっていきます。

イ. 復興支援活動の価値と教訓を残す（①②③に対応）

これまで行われてきた復興支援の取り組みから、その価値と教訓を明らかにし、平時の地域づくりや今後の災害対応に活かせるようにします。

背景 復興支援活動においては、支援者も当初は想定しなかった価値に、後になって改めて気づくことも多々ありました。信頼の関係性や主体性が大事だということもその中に含まれます。こうした価値や教訓を今後に残していく必要があります。

ウ. 地域づくりに関わる団体・機関の協働のネットワークとしくみをつくる（①③④に対応）

地域づくりに関わる団体・機関が、信頼関係をつくりながら協働して地域づくりに取り組んでいけるようにするためのネットワークとしくみをつくります。

背景 復興支援から平時の地域づくりへと移行していく中で、復興支援の文脈ではあまりかわっていなかった団体・機関が、信頼の関係性をつくりながら地域の課題に協働で向かい合っていくことが大事になってきます。

C. 中期ビジョンに基づく主要な事業

ア. 市民ライター講座（「地域活動・社会的活動のまなびの場をつくる」に対応）

地域活動に関心を持つ人たちが、地域や社会の課題や取り組みについて、調べる・伝えるスキルを学び、実践する場をつくります。

イ. 調査検証事業（「復興支援活動の価値と教訓を残す」に対応）

復興支援活動に関する調査検証を行い、今後のコミュニティ支援や他地域の災害支援に役立てられるようにします。

ウ. 地上の星基金（「地域づくりに関わる団体・機関の協働のネットワークとしくみをつくる」に対応）

地域の団体・機関のネットワークで運用する資金支援のしくみとして（仮称）地上の星基金の設置を提唱し、具体化を図ります。この資金によって、地域課題の調査や、課題の共有ができるようにします。

エ. 相談・個別支援事業（共通）

中期ビジョン実現の基礎となる事業として、地域づくりに関わる団体等を対象とした相談・個別支援事業を行い、団体の組織基盤強化や事業基盤強化を支援します。

D. 計画の体系

別紙 1 参照。

E. 年次計画

別紙 2 参照。

3. 計画の推進と評価

A. 推進体制

理事会の責任により、この中期計画を推進していきます。

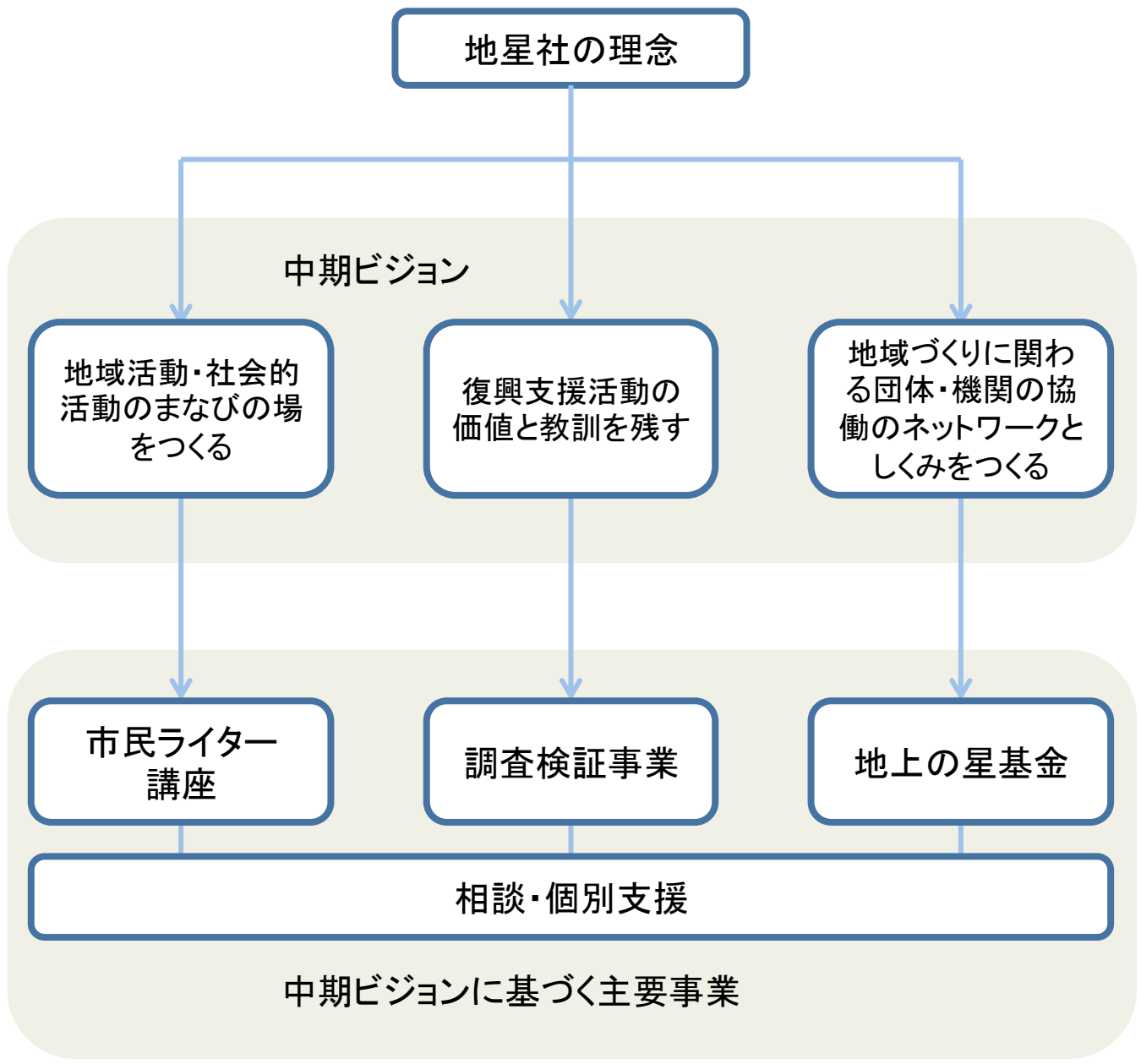
B. 評価

会員や外部協力者による評価委員会を設置して、年に 1 回中期計画の進捗を評価し、次年度の計画に反映させます。

改訂履歴

2019 年 7 月 4 日 理事会で承認

別紙1 中期計画の体系



別紙2 年次計画

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民ライター講座	講座の開催 (トライアル実施)	(トライアルの検証) ウェブメディアでの 情報発信	(本格開催) ステップアップ講座の 開催		他地域への展開
調査検証事業	移動支援に関する 調査検証事業 復興支援団体への インタビュー	テーマ別 調査検証事業	情報の整理 課題・教訓・価値の とりまとめ	情報発信	
地上の星基金	設立準備委員会 制度設計	総会で設 置を判断 3月11日に 基金開設	資金集め	公募助成 助成事業 実施	公募助成 助成事業 実施